

## Opensignal、日本のモバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・レポートを発表

日本国内4社の5Gエクスペリエンスと全体のエクスペリエンスを分析

レポートダウンロード：

<https://www.opensignal.com/jp/reports/2022/04/japan/mobile-network-experience>

Opensignal（本社：ロンドン）は、日本のモバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・レポートを発表しました。今回のレポートでは、はじめて5Gエクスペリエンスと全体のエクスペリエンスの両方を1つのレポートで分析しました。また、日本の国内オペレーター4社のエクスペリエンスの一貫性を数値化する2つの新しい賞を追加しました。

日本全国で5Gが展開し続けています。総務省は、2023会計年度末までに [5Gの人口カバー率を95%](#)にすることを目指しています。NTTドコモは5Gの展開ペースを [早める](#)と述べており、楽天は今年5G基地局を [少なくとも1万基](#)増やす予定です。日本の通信オペレーターは日本のユーザーのモバイル・エクスペリエンスをさらに向上させるべく、新技術の導入を続けています。

Opensignalは、日本国外で [他の5Gスタンドアロン・ネットワーク](#)の導入を見てきましたが、[KDDI](#)は2022年初頭に日本で初めてオープンな無線アクセスネットワーク（O-RAN）技術を使用した商用スタンドアロンの5Gネットワークであると主張しました。楽天は国内での4G・5Gネットワークと国外での技術提供の両方において、[ORANの主なグローバル提案者](#)となっています。ORANのサプライヤーは、コスト削減とワイヤレス・ネットワークのイノベーションの加速を目指しています。SoftBankもまた、5Gの新規格導入を推進しています。そして、[スタンドアロンの5Gネットワークの展開](#)も開始しています。スタンドアロン5Gは、数百万台ものデバイスをサポートし、より信頼性と応答性に優れた低レイテンシー接続の提供を約束します。これにより、モバイル・ゲーム・エクスペリエンスとリアルタイム通信が向上し、モバイルオペレーター向けの新しいモノのインターネット市場が開かれます。

### ○ 主なハイライト

#### NTTドコモが5G到達率および利用率アワードを受賞

カバレッジ部門では、NTTドコモがかなりの差をつけて2つの賞を受賞し、5G利用率についてはSoftBankと共同受賞でした。得点差は利用率で小さくなっていますが（100ポイント満点で4オペレーターすべてがわずかに0.9ポイント差）、5Gの到達率および5G利用率のスコアでは大差がつかしました。5G到達率を受賞したNTTドコモは、SoftBank（10ポイント中2.5）を制して2.8を獲得しましたが、楽天は0.5で届きませんでした。同様に、5G利用率では、楽天のスコア1%から3ポイント以上引き離し4.3%と4.1%のスコアを獲得しました。

#### SoftBankがすべてのゲームおよびビデオ・エクスペリエンス・アワードを受賞

5Gゲーム・エクスペリエンスと5Gビデオ・エクスペリエンスの両カテゴリにおいて、SoftBankは100ポイント中スコア86.6と77.9で勝利しました。すべてのモバイル・ユーザー（ゲーム・エクスペリエンスとビデオ・エクスペリエンス）の全体エクスペリエンスを表す賞では、同じくSoftBankが再び勝利を収めましたが、スコアはそれぞれ

82.1 と 66 と低いものでした。全体エクスペリエンスにおけるこのような低スコアは、5G 技術の重要性を浮き彫りとなりました。

#### **NTT ドコモがダウンロード・スピード・エクスペリエンス・アワードを 52.9 Mbps で受賞**

NTT ドコモユーザーが体感した平均ダウンロード速度（52.9 Mbps）は、2 位の au（47 Mbps）と 3 位の SoftBank（41.9 Mbps）よりも高速でした。しかし、5G ダウンロード・スピード・エクスペリエンスでは、NTT ドコモと楽天が、統計的同点でそれぞれ 194 Mbps と 181.8 Mbps のスコアを獲得しました。

#### **楽天が両アップロード・スピード・アワードを受賞**

5G アップロード・スピード 29.7Mbps で、楽天は 2 位の SoftBank のスコア 24.2 Mbps に差をつけて第 1 位になりました。楽天ユーザーのアップロード平均速度は、国内競合他社 3 社の SoftBank（10.3 Mbps）、NTT ドコモ（10 Mbps）、au（8.8 Mbps）よりも 15.8 Mbps のスコアを抑えてリードしました。

#### **整合性では、SoftBank が「中核となる一貫した品質」アワードを受賞し、「一貫した素晴らしい品質」アワードを NTT ドコモと共同受賞**

「中核となる一貫した品質」で、SoftBank ユーザーは、一般アクティビティの要件を満たすテストの素晴らしいバランスを体感しました。しかし、NTT ドコモとソフトバンクは「一貫した素晴らしい品質」アワードを共同受賞しました。つまりこの 2 社のユーザーは、要求の厳しいアプリケーションやサービスの測定において、最も多くの部分で最低限の要件を満たしていたのです。

#### **楽天と SoftBank が音声アプリ・エクスペリエンス・アワードを共同受賞**

これらのメトリックに対する 5G と全体的な賞の両方で、2 オペレーターが共同受賞しています。音声アプリ・エクスペリエンスでは、一般的なモバイルアプリを使用してリアルタイムの音声通信を行うことが定量化されています。この種のアプリには、Facebook Messenger、LINE、Skype、WhatsApp などがあります。

Opensignal が分析した 8 地域すべてで NTT ドコモがダウンロード・スピード・エクスペリエンス・アワードを受賞しました。これにより、NTT ドコモのユーザーは、全国受賞に加えて、他のオペレーターのユーザーと比較して、他に類を見ない平均ダウンロード速度を達成できました。

SoftBank は大半の地域でビデオ・エクスペリエンス・アワードを受賞しています。近畿では単独受賞でしたが、6 地域（中国、北海道、関東、九州、四国、東北）で au、NTT ドコモと共同受賞しました。中部では NTT ドコモとのみの共同受賞でした。

楽天は、地域のアップロード・スピード・エクスペリエンス・アワードで 5 つの賞を受賞しています。他 3 社での共同受賞は、中国のソフトバンク、北海道の NTT ドコモ、東北の au と SoftBank でした。ゲーム・エクスペリエンスにおいて、SoftBank は、全国アワードに加えて中部、北海道、関東、近畿の 4 地方でアワードを獲得しました。他の 4 地域では共同受賞でした。

利用率の地域別アワードは、1 地域を除く全地域のオペレーター間での共同受賞でした。全国利用率アワードと同じく関東利用率アワードも NTT ドコモが大差をつけて受賞しました。その他の地域では、このアワードは接戦でした。SoftBank はこの賞を近畿で NTT ドコモと共同受賞しました。同様に中国では au、NTT ドコモが共同受賞しました。しかし、他 5 地域では 3 社（au、NTT ドコモ、SoftBank）が共同受賞しています。楽天が受賞または共同受賞した地域はありませんでした。

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます。

## Opensignal について

Opensignal は、独立系モバイル分析会社であり、実際のユーザーエクスペリエンスの測定に基づいて世界のモバイル・ネットワークの実情について理解する為のグローバル・スタンダードとなっています。世界中で 1 億台以上のデバイスから毎日収集された数十億の測定値を使用して、ワイヤレス業界で最大の規模と頻度で全世界のモバイル・ネットワーク・エクスペリエンスを分析しています。

Opensignal は、ネットワークのパフォーマンスをユーザーの視点から直接測定することが、より良いワイヤレス・ネットワークを構築するための鍵であると信じています。Opensignal のモバイル分析ソリューションは、携帯電話会社、通信規制当局、機器メーカー、アナリストによって業界全体で使用されています。

Opensignal および Opensignal のロゴは、Opensignal, Ltd の商標または登録商標です。言及されているサードパーティーの商標は、それぞれの所有者の財産です。

---

本件に関する問い合わせ先

Opensignal 広報担当

Rebecca Adewale

[rebeccaadewale@opensignal.com](mailto:rebeccaadewale@opensignal.com)

Opensignal 広報代理

担当：清水

[opensignal@jspin.co.jp](mailto:opensignal@jspin.co.jp)